

関係者のみなさまへ

日本防災士会・新潟県支部 学校防災教育推進部長 古保 和博

新潟市の中学校で防災学習を実施(水害・土砂災害編)

今年の防災学習は、1回目を「水害・土砂災害編」2回目を「地震津波編」3回目を「雪害と情報入手の実習」として1週間に1回、3週に渡って実施することにした。

1回目は、「新潟県マイ・タイムライン教室」を利用し、地域の地理的状況や過去の災害履歴等を織り交ぜ再編集した。災害から生き抜くためには、「事前準備・情報入手・早めの避難」が重要であることを学び、新潟市総合ハザードマップで周辺の災害リスクを確認した。

家に帰って家族と災害リスクを共有して災害時の行動について話し合い「マイ・タイムライン」を完成させることを宿題とした。

日時:令和4年7月7日(木) 50分授業

対象:中学校1年生 3クラス

テーマ:「自分の命は自分で守る」(水害・土砂災害編)

講師:クラス講師 防災士3名 アシスタント 防災士4名



災害から生き抜くためには・・・

① 災害に備えた事前準備をする

- ・危険にな場所を確認しておく
- ・避難の時に必要になるものを準備しておく

② 災害に関する情報を入手する

- ・テレビやインターネット等を利用して、災害に関する最新情報を入手

③ 災害になる前に早めに避難する

- ・空振り覚悟で安全な場所に早めに避難する